令和２年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 広島県府中市社会福祉協議会

令和２年度　事業報告書目次

１　事業報告概要 …… １

２　事業報告

＜法人の経営に関する事業の推進＞

組織運営事業 …… ３

＜地域福祉活動の推進＞

地区社協活動 …… ５

ふれあいいきいきサロン事業 …… ５

音楽療法事業 …… ６

敬老事業 …… ７

ささえあいネット事業 …… ８

ボランティアセンター事業 …… ８

福祉教育推進事業 …… ９

民生委員児童委員協議会事業 …… １０

障害者社会参加促進事業 …… １０

障害者週間事業 …… １１

備品貸出事業 …… １２

地域支え合い推進事業 …… １２

「認知症カフェ」支援事業 …… １２

＜生活支援事業の推進＞

福祉サービス利用援助事業（かけはし） …… １３

権利擁護事業 …… １４

生活困窮者自立支援事業 …… １４

ふくし相談事業 …… １５

生活援護事業 …… １５

生活福祉資金貸付事業 …… １６

民生福祉資金貸付事業 …… １６

＜在宅福祉サービス事業の推進＞

元気ふれあい通所事業 …… １７

介護保険対象外ヘルパー事業 …… １７

・介護保険事業

訪問介護事業 …… １７

居宅介護支援事業 …… １８

訪問入浴介護事業 …… １９

・障害者福祉事業

障害者居宅介護事業 …… １９

障害者入浴サービス事業 …… １９

生活介護事業 …… １９

＜児童福祉事業の推進＞

放課後児童クラブ事業 …… ２０

＜諸事業＞

日本赤十字社広島県支部府中市地区 …… ２１

府中市共同募金委員会 …… ２１

1　事業報告概要

昨年度策定をした「地域福祉活動計画」に基づく事業活動を心がけました。

しかし、時期により程度の差はありましたが、新型コロナウイルスによる制約を受けた事業展開となりました。

〈法人の経営に関する事業の推進〉

「地域福祉活動計画」で示された方向性に基づき、組織内の連絡調整を図り、効率的な組織管理と人材確保・育成に取り組み、適切な法人運営に努めました。

新型コロナ感染症対策のため第１回の理事会及び評議員会は、「決議の省略」という対応とならざるを得ませんでした。しかし、それ以外の機関会議については、対策を取りながら実施しました。

また、社会福祉法人の地域福祉貢献活動として取り組んできた子ども食堂「リフレきずな食堂」ですが、新型コロナのため活動は休止に追い込まれました。

介護人材の確保・定着に向けた取り組みは、府中市・福山平成大学と協働して取り組んだ児童・生徒向けの啓発カードゲームが完成しました。しかし、介護・福祉施設のパンフレットや求人情報等の市民健康＆福祉まつりでの配布はまつりそのものの中止により実施できませんでした。

〈地域福祉活動の推進〉

「地域共生社会」実現のための重要な活動との位置付けで、その充実を目指しました。

しかし、コロナ対策のため地域で集う場の開設自体が困難となり、思ったような活動ができませんでした。

・ふれあい・いきいきサロン 88 ヵ所。サロンへの非接触体温計の配布
・音楽療法事業では、新型コロナウイルス感染症の広がりに伴い、一旦セッションを休止。その後感染症対策基準を設け、実施可能な現場において再開
・民生委員児童委員協議会では、「府中マスクバンク」で製作したマスクの配布に協力しました

〈生活支援事業の推進〉

コロナが原因で減収し、生活が困窮した世帯を対象とした生活福祉資金特例貸付の申請受付窓口として、制度の対象外の方も含め多くの相談に対応しました。

また、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援として、各家庭への訪問型と４地域での集団型を実施しました。

さらに、様々な課題を抱えた人たちが地域で安心して生活継続するため、権利擁護事業、福祉サービス利用援助事業（かけはし）、ふくし相談事業などを関係

機関等と連携して実施しました。

〈在宅福祉サービス事業の推進〉

適切なサービスはもちろんのこと、コロナ禍においても安心・安全なサービス提供体制の確保を図り、職員のスキルアップ、収益確保、効率的な運営を目指しました。

〈児童福祉事業の推進〉

府中市からの受託事業である放課後児童クラブ事業を実施しました。この事業については、令和２年度をもって受託を終了しました。

前述のとおり、新型コロナウイルス感染症の発生により、社協も様々な事業・活動に影響を受け、中止・自粛を余儀なくされました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策に万全を期すと同時に、「地域共生社会の実現」に向け工夫して取り組みを積み上げていきます。

2　事業報告

＜法人の経営に関する事業の推進＞

組織運営事業　　法人運営事業

組織内の連絡、調整を図り、効率的な組織管理と適正な法人運営に努めるため、事業全体の管理、計画的な事業執行をおこないました。

1　役員活動

（1）理事会

第１回　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、決議の省略による
令和２年６月 5 日（金）提案書類発送
令和２年６月 12 日（金）全理事から同意書返送
全監事から確認書返送
議事　令和元年度事業報告について
令和元年度決算報告について
評議員選任・解任委員の選定について
資金運用について
令和２年度地域福祉活動生活資金配分（案）について
定時評議員会の招集について

第２回　令和２年９月 25 日（金）　出席役員 13 名
議事　令和２年度資金収支第１次補正予算（案）について
評議員候補者の推薦について
評議員選任・解任委員会の招集について
令和２年度府中市社会福祉協議会会長表彰の被表彰者について
評議員会の招集について
報告　会長の職務執行の状況報告
地域福祉活動計画について

第３回　令和３年３月 11 日（木）　出席役員 13 名
議事　令和２年度資金収支第２次補正予算（案）について
令和３年度事業計画（案）について
令和３年度資金収支予算（案）について
就業規則の一部改正について
役員等賠償責任保険契約について
評議員会の招集について
報告　会長の職務執行状況の報告について
中間監査報告について

（2）評議員

定時（第１回）第１回理事会の決議により、定時評議員会は決議の省略による
令和２年６月 12 日（金）提案書類発送（理事の同意後）
令和２年６月 27 日（土）全評議員から同意書返送
議事　令和元年度事業報告について
令和元年度決算報告について

第２回　令和２年10月９日（金）　出席評議員20名
議事　令和２年度資金収支第１次補正予算（案）について
理事の選任について
第３回　令和３年３月25日（木）　出席評議員17名
議事　令和２年度資金収支第２次補正予算（案）について
令和３年度事業計画（案）について
令和３年度資金収支予算（案）について

（３）正副会長会議
令和２年　６月　４日（木）　令和２年　９月 18日（金）
令和３年　３月　５日（金）

（４）監査
令和２年　６月　３日（水）　業務執行状況及び財務の状況について
令和２年 11月 17日（火）　業務の執行状況について

（５）委員会
評議員選任・解任委員会
第１回　令和２年９月30日（水）　出席委員４名
議事　評議員の選任について

２　事務局活動

職員研修
全体研修　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
キャリア別職員研修（県社協主催）への参加
若手職員・管理職（Ｗｅｂ研修）
介護サービス課定例研修　毎月第３金曜日
同一労働同一賃金への対応　就業規則の改正、処遇改善を検討

３　組織強化活動

（１）会費・賛助会費　（　）内は前年度

一般会費	１世帯	300円	3,204,820円	(3,236,400円)
団体・施設会費	１口	3,000円	54,000円	(54,000円)
賛助会費	１口	2,000円	1,342,000円	(1,347,000円)

会員数　617件（628件）

（２）地域福祉活動計画策定
（３）府中市地域福祉貢献活動協議会
子ども食堂：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動自粛

４　広報啓発活動

（１）社協だより「せせらぎ」の発行　６月・９月・12月・３月　発行部数13,200部
（２）広報委員会　４回開催（委員数４名）
（内１回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料送付後委員から意見をいただく形で実施）
（３）ホームページ運営及びフェイスブックの活用

５　市民健康＆福祉まつり

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

６　福祉バザー＆ふれあい広場

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事業活動支出額　64,172千円

＜地域福祉活動の推進＞

地区社協活動　　地域福祉事業

地区社会福祉協議会の活動支援や助成をはじめ、地域住民やボランティアによる自発的・積極的な「支え合いやふれあい活動」の推進を図りました。

（　）内は前年度

1　地区社会福祉協議会連絡会の運営

（1）総会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、総会の開催を中止し書面による議決とした。

議事・活動報告・決算報告、活動計画・予算について
- 役員改選について
- 評議員の推薦について
- 小地域福祉活動助成事業の決定について
- 敬老会について

（2）研修会

役員研修会

敬老会の開催を中止としたため、役員研修会についても中止とし、記念品配布事業の集約を行い次年度の参考資料とした。

地区社協役員研修会

令和3年2月25日（木）　出席者　20地区　19人　府中会場
令和3年2月26日（金）　出席者　10地区　10人　上下会場

内容・活動報告等並びに活動計画等の提出について
- 小地域福祉活動助成事業申請について
- 敬老会について

2　地区社会福祉協議会への助成

活動費助成（34地区）2,147,229円（2,168,388円）（会費納入額の67／100）

3　小地域福祉活動助成事業の実施

(1) 支え合いふれあい活動	15地区	(24地区)	402,940円 (592,835円)
(2) 介護研修会・介護予防研修会	0地区	(7地区)	0円 (122,416円)
(3) 地域ニーズ把握や課題解決にむけた活動	2地区	(3地区)	40,000円 (43,618円)
合計	17地区	(34地区)	442,940円 (690,501円)

事業活動支出額　2,611千円

ふれあいいきいきサロン事業　　地域福祉事業

高齢者や障がい者、子育て中の親子を地域で支えるためのふれあいの場をつくり、交流の中で安心して暮らせる地域づくりに向け活動を展開しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされ、通常のサロン活動が難しい状況が続きました。感染症対策を講じることができるように、サロン世話人と再開に向けての協議を行い、また、非接触体温計を配布し、少しでも安心して開催ができる環境づくりに寄与しました。

（　）内は前年度

1　ふれあい・いきいきサロン活動の実施

（1）ふれあい・いきいきサロンの開催状況と助成

開催地区	88 か所	（　88 か所 ）
開催回数	1,362 回	（　2,270 回 ）
参加者数	延 19,500 人	（ 延 32,499 人 ）
助成額	4,282,000 円	（ 4,100,000 円 ）

（2）上下地域いきいきふれあい事業の実施

令和２年度は、弁当の配布に切り替えて実施しました。

開催回数	8 回	（　10 回 ）
参加者数延	157 人	（ 延 239 人 ）
ボランティア数	104 人	（　274 人 ）

（3）代表者会議の開催

ふれあい・いきいきサロン代表者会議

上下会場　令和３年２月 25 日（木）　府中会場　令和３年２月 26 日（金）

2　社協型活動総合推進事業（小地域のお茶の間づくり）の実施

地域の人が気軽に集える場づくり、地域を支える担い手（安心サポートリーダー）づくり、日常的な声かけや見守りなどの活動づくりを推進するため、定期的な訪問を行い、進捗確認や課題整理、地域で支え合える取り組みについて協議を行いました。

［指定３年］

ティールーム四日市

開催回数　34 回　※4 月途中～6 月は新型コロナウイルス感染症対策のため休止

参加者数　931 人

助成額　504,000 円（504,000 円）

緑ヶ丘お茶の間サロン

開催回数　37 回　※4 月～6 月は新型コロナウイルス感染症対策のため休止

参加者数延　1,686 人

助成額　580,000 円（530,000 円）

事業活動支出額　5,650 千円

音楽療法事業　　地域福祉事業

地域や施設などと連携を取りながら、介護予防領域・療法領域・生きがいづくり領域を柱として、その人がその人らしく過ごせるよう援助しました。

（　）内は前年度

1　健康維持・予防領域での取り組み

ふれあい・いきいきサロン　159 回（244 回）　延 2，315 人（延 4,738 人）

2　療法領域での取り組み

（1）高齢者領域

特別養護老人ホーム	0 施設（1 施設）	延　0 人	（延　40 人）
養護老人ホーム	0 施設（1 施設）	延　0 人	（延　397 人）
デイサービス	1 施設（1 施設）	延　46 人	（延　282 人）

（2）成人領域

知的障害者施設	6 施設（6 施設）	延	435 人（延	1,290 人）
精神障害者施設	1 施設（1 施設）	延	92 人（延	153 人）
医療施設　病院	0 施設（1 施設）	延	0 人（延	303 人）

（3）子ども領域

児童福祉施設	0 施設（1 施設）	延	0 人（延	296 人）
S・M・T(ｽﾏｲﾙﾐｭｰｼﾞｯｸｾﾗﾋﾟｰ)	7 ｹｰｽ（ 9 ｹｰｽ）	延	52 人（延	136 人）
子育て支援センター	1 施設（1 施設）	延	10 人（延	82 人）
こどもの音ひろば	0 教室（3 教室）	延	0 人（延	126 人）

（4）医療領域

S・M・T(ｽﾏｲﾙﾐｭｰｼﾞｯｸｾﾗﾋﾟｰ)	1 ｹｰｽ（ 1 ｹｰｽ）	延	6 人（延	11 人）

3　生きがいづくり領域での取り組み

（1）シルバーコーラス教室	2 教室（2 教室）	延	169 人（延	671 人）
（2）ピアノ教室	10 人（ 10 人）	延	139 人（延	181 人）
（3）おとなの音ひろば	1 教室（1 教室）	延	208 人（延	319 人）

4　その他の取り組み

（1）講演関係

①令和 2 年 10 月 16 日（金）府中市老人大学上下教室　　受講者数 20 人
「心と体を動かす音楽療法　～実践編～」

（2）コロナ禍における音楽療法の取り組み

① サロンでのミニコンサート　　令和 3 年 3 月 23 日（火）中須東町サロン
② 指定生活介護事業所「オリオリ」での音楽療法実施　　計 9 セッション
③ 元気ふれあい通所事業での音楽療法実施　　計 3 セッション
④ 放課後児童クラブＣでの音楽療法実施　　計 1 セッション

5　広報

社協だより掲載　事業周知

※令和元年度 3 月～令和 2 年度 6 月の期間、新型コロナウイルス感染症の広がりに伴い、音楽療法のセッションを休止。令和 2 年 7 月より、感染症対策基準を設け、実施可能な現場において再開。

事業活動支出額　　11,029 千円

敬老事業　　地域福祉事業

敬老の意を表すため敬老会の開催支援等や、高齢者に対しての長寿を祝福する事業としてコロナ感染症対策の中において、記念品配布事業を行い見守り活動の内容で実施しました。

（　）内は前年度

1　敬老会運営の支援

地区社会福祉協議会へ記念品費、配布経費の助成

地区社協	34 団体	（32 か所）
敬老者	8,142 人	（8,358 人）
助成額	10,279,301 円	（10,484,970 円）

2　100歳万歳事業

令和2年度に100歳を迎えられる28人（24人）

お祝い金　3万円（3万円）

事業活動支出額　　11,238千円

ささえあいネット事業　　地域福祉事業

利用者と協力員の適切なコーディネートと活動時の協力員の安全確保に努めながら、住民による有償の日常的な生活支援サービスを提供し、暮らしの中のちょっとした困りごとを住民同士がお互いさまの気持ちで支え合う活動を推進しました。

今年度は新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、利用者・協力員の両者が感染防止に努めて活動を行いました。

（　）内は前年度

1　要領の改訂

生活応援活動事業「ささえあいネットすけっとや」の運営要領を改訂し、以下の点を変更しました。変更点を社協だより（第193号）に掲載し、周知を図りました。

（1）活動時間

1時間目安　（2時間目安）

（2）利用料

700円/1時間　（500円/1時間）

（3）利用料の授受

毎活動時終了後に、利用者と協力員間での授受

（協力員は受け取った利用料を社協へ納入、翌月に協力員へ支給）

2　利用者と協力員の利用調整

相談件数	141件	（86件）
活動件数	118件	（93件）
実利用者数	36人	（31人）
活動者数	16人	（19人）
協力員登録者数	42人	（49人）

事業活動支出額　　300千円

ボランティアセンター事業　　地域福祉事業

ボランティアニーズの把握や活動のコーディネートを行うとともに、ボランティア活動への関心を高めるために、幅広くボランティアについての周知、活動者同士の交流を行い、ボランティア活動の推進を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの活動が自粛を強いられました。所属団体の自主活動について、感染症対策を考慮した活動を啓発しました。

（　）内は前年度

1　ボランティアセンターの運営

（1）ボランティアセンター登録状況

登録状況　26団体（25団体）290人（284人）

（2）ボランティア連絡協議会加入団体
15 団体（15 団体）166 人（177 人）
（3）個人ボランティア　本所　9 人（5 人）　支所 175 人（235 人）

2　ボランティアの育成と新たな人材の発掘

社協広報等で呼びかけを行い、新規で団体 2、個人 4 名の登録をいただきました。今後も、府中市ボランティア連絡協議会と連携しながら、ボランティア活動のすそ野を広げていく予定です。

3　技術ボランティアの養成

障害者社会参加促進事業により実施

4　ボランティア活動情報の発信

社協だより、ホームページへの掲載

5　ボランティア活動保険の受付・加入促進

加入受付　15 件（20 件）
（基本プラン 13　災害プラン 2）

6　ボランティアグループへの活動助成

24 団体（24 団体）332,800 円（350,000 円）

7　府中市被災者生活サポートボランティアネットワークの取組み

大規模災害発生時に迅速に対応できる体制づくりを行う機関として、府中市被災者生活サポートボランティアセンターの運営協議を行う予定でしたが、ネットワーク加盟団体間での協議はできませんでした。感染症対策を踏まえた運営について、今後協議を行う必要があります。

事業活動支出額　　367 千円

福祉教育推進事業　　地域福祉事業

学校や関係機関・団体と協働し、福祉やボランティアに対する理解を深めるため、福祉教育を推進しました。

（ ）内は前年度

1　小中学校および義務教育学校への助成

(1)福祉教育推進助成事業
小学校、中学校、義務教育学校の児童・生徒の福祉教育にかかわる活動助成
小中学校 12 校(12 校)　1 校につき 7 万円(7 万円)

(2)福祉教育活動特別助成事業
学校独自の福祉教育及びボランティア学習の推進助成
小中学校 10 校(10 校)　1 校につき 3 万円(3 万円)

2　体験学習の実施

(1)　社会福祉施設等体験学習
新型コロナウイルス感染症防止の為、開催を中止

(2)福祉体験学習
車いす体験や高齢者疑似体験、手話、盲導犬学校キャラバンなどの講師派遣
実施校数　　1 義務教育学校　4 小学校(3 小学校)

事業活動支出額　　1,208 千円

民生委員児童委員協議会事業　　地域福祉事業

委員の活動しやすい環境づくりに努めるため、府中市民生委員児童委員協議会の事務局として支援しました。

1　定例会議の開催

（1）地区会長会議（関係機関出席）毎月１回
　・４月５月は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止、６月より再開。
　・地区副会長の出席を６月、関係機関の出席を12月より自粛していただき、少人数で短時間の会議となるよう実施。
　地区民協定例会　毎月１回

（2）正副会長会議
　令和２年 4 月 13 日（水）　　出席者３名
　議事・令和２年度定期総会について

（3）理事会（書面決議）
　議事・令和元年度活動報告について　・令和元年度決算報告について
　　・令和２年度活動計画について　・令和２年度予算について
　　・令和２年度定期総会開催（書面決議）について

（4）総会(書面決議)
　議事・令和元年度活動報告について　・令和元年度決算報告について
　　・令和２年度活動計画について　・令和２年度予算について

2　市内研修の実施

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、市外での集合型研修が市民児協でのDVD視聴型研修へ変更となりました。

（1）単位民児協会長研修会
　令和３年１月 22 日（金）　　出席者６名

（2）児童福祉推進研修会
　令和３年３月 16 日（火）　　出席者 12 名

（3）新任民生委員児童委員研修会
　令和３年３月 16 日（火）　　出席者 30 名
　令和３年３月 18 日（木）　　出席者４名

（4）中堅民生委員児童委員研修会
　令和３年３月 22 日（月）　　出席者６名

3　その他

（1）マスクバンクの配布活動への協力
（2）避難行動要支援者避難支援プランへの協力

事業活動支出額　　256 千円

障害者社会参加促進事業　　地域福祉事業

障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、障がい者の日常生活及び社会生活上必要な支援事業を実施しました。

（　）内は前年度

1　要約筆記者派遣事業
派遣回数　4 回（11 回）　派遣人数　13 人（ 29 人）
2　手話通訳者派遣事業
派遣回数　46 回（43 回）　派遣人数　51 人（ 49 人）
3　要約筆記奉仕員養成事業
講習回数　24 回（38 回）　延受講者数　171 人（262 人）
4　手話奉仕員養成事業
基礎講座　講習回数　21 回（24 回）　中級講座　講習回数　33 回（24 回）
延受講者数　302 人（229 人）
5　朗読奉仕員養成事業
講習回数　11 回（16 回）　延受講者数　50 人（114 人）
6　点訳奉仕員養成事業
講習回数　27 回（23 回）　延受講者数　107 人（118 人）
7　点字・声の広報発行事業
府中市広報や必要性の高い情報等を希望利用者へＣＤ録音・点訳
提供回数　12 回（12 回）
音訳 CD　各月 1 回×6 か月
点訳点字書類　各月 1 回×6 か月
その他、お悔み・身障通信・社協せせらぎ・議会だより・絆などを音訳・点訳
8　重度身体障害者移動支援事業
在宅福祉サービスカー利用件数　40 件（45 件）

事業活動支出額　1,324 千円

障害者週間事業　地域福祉事業

障がい者の社会参加促進と障がい者に対する理解を深めることを目的として、障害者週間（12/3～12/9）にあわせて、関係団体と連携し事業を実施しました。
今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、コンサート形式の開催を中止し、市内での街頭啓発活動を行いました。

障害者週間記念事業「つなごうＤａｙ」の実施
（1）街頭啓発活動の実施
日　時　令和 2 年 12 月 12 日（土）
場　所　①エブリイ府中店
②ハローズ高木店
③ゆめマート府中店
参加者　実行委員会、施設利用者より 14 名
配布物　エコバッグ　400 枚
リーフレット　400 枚
（2）実行委員会の開催　1 回

事業活動支出額　267 千円

備品貸出事業　　地域福祉事業

在宅福祉の増進を図るため、身体障がい児・者や高齢者等に対し、福祉用具の貸出を行いました。また、地域福祉の推進を図るためレク機材の貸出を行いました。

（　）内は前年度

1　福祉用具の貸出

貸出件数	ベッド	35 件	(35 件)
	車いす（長期）	15 件	(13 件)
	車いす（短期）	46 件	(74 件)
	介護カー	40 件	(45 件)

2　レク機材の貸出

貸出件数	218 件	(347 件)

事業活動支出額　390 千円

地域支え合い推進事業　　地域福祉事業

新たな介護予防・日常生活支援総合事業による、高齢者を支える地域の支え合い体制づくりの推進に向けて、生活支援コーディネーターとしての取り組みを行いました。

1　ニーズ把握

各老人クラブへアンケートを実施し、地域の活動の把握を行いました。また、サロンだけでなく、自主グループなど集いの場へも足を運び、活動に参加しながら地域の支え合いにつながる方法を探りました。

住民主体の地域福祉活動への訪問	9 か所
ふれあい・いきいきいきサロン等への訪問	66 か所
ブランチ健康講座等でのサロン訪問	29 か所

2　地域資源の見える化

地域福祉活動の取り組みを社協広報紙へ掲載

3　関係者のネットワーク化

府中市地域包括ケア会議・ブランチ会議へ参加（上下地区含む）

4　その他生活支援体制整備の構築に向けた取り組み

関係する研修会等への出席　2 回

事業活動支出額　6,864 千円

「認知症カフェ」支援事業　　地域福祉事業

認知症の人とその家族の孤立を防止し、地域で支える体制づくりを進めるため、「認知症カフェ」を定期的に運営する住民に対し、運営費の一部を助成しました。

「認知症カフェ」への活動助成

「認知症カフェ」の活動の開催状況と助成

開催地区(府中地区)	3か所	21回（34回）	313人（625人）
（上下地区）	2か所	9回（16回）	101人（202人）
利用者数		30回（50回）	延414人（827人）
助成額	60,000円		

※認知症家族の集い実施(上下支所)（上記上下地区に含む）
R2/5/20…0人（19人）　8/26…0人（17人）　11/6…6人（15人）
R3/3/26…6人（17人）　（各回に包括・社協・医師会が参加）

事業活動支出額　60千円

＜生活支援事業の推進＞

福祉サービス利用援助事業（かけはし）　生活支援事業

認知症や障がいなどにより、自分ひとりでサービスの利用等の判断をすることが不安な人やお金の管理に困っている人などに対し、福祉サービスの利用申込み、契約手続き、日常的なお金の出し入れ、預貯金通帳などの預り支援を行い、地域での生活を支援しました。

（　）内は前年度

1　福祉サービス利用援助事業の実施

実利用人数	52人	（　54人）
支援総件数	3,045件	（1,892件）
認知症高齢者等	1,001件	（　567件）
知的障害者等	652件	（　534件）
精神障害者等	1,055件	（　602件）
その他	337件	（　189件）
実新規相談人数	14人	（　11人）
相談総件数	90件	（　53件）
認知症高齢者等	2件	（　22件）
知的障害者等	3件	（　2件）
精神障害者等	44件	（　12件）
その他	41件	（　17件）
契約件数	6件	（　8件）
終了件数	7件	（　2件）
専門員数	4人	（　3人）
生活支援員登録者	11人	（　11人）

2　せせらぎ調整会議の開催

権利擁護に関する事業の調整会議を月1回開催

3　職員の資質向上

令和2年7月30日　かけはし専門員連絡会議（広島市）
令和2年9月30日　相談援助技術向上研修（広島市）

4　関係機関との連携

利用者への支援を円滑に行うため、関係機関との連携を密にして事業内容の周知を図りました。

事業活動支出額　5,306千円

権利擁護事業　　生活支援事業

開かれた成年後見制度の相談窓口として市民に対する定期的な相談会を開催し、制度の適切な運用を支援するとともに、判断能力不十分な方に対し、本会が成年後見人等を受任し、安心して地域生活を営むことができるよう努めました。

（　）内は前年度

1　法人後見の受任

（1）受任件数　　3件（　3件）
（2）延支援件数　523件（360件）

2　成年後見制度に関する相談

（1）新規相談件数　10件（　6件）　※毎月1回の定期相談分含む。
（2）延対応件数　12件（　9件）

事業活動支出額　367千円

生活困窮者自立支援事業　　生活支援事業

府中市からの受託事業として、生活に困窮している人の多様で複合的な課題を解きほぐしながら、課題がより複雑化・深刻化しないよう、本人の状況に応じて必要な支援を行い、生活困窮状態から脱却できるための取り組みを各関係機関と連携して行いました。

（　）内は前年度

1　体制整備

（1）任意事業「子どもの学習支援事業」の充実・拡大
・10月から栗生地域へ集合型の学習支援会場を新設
（地域ボランティアの協力を得て運営）
・令和3年度開設に向けた国府地域への働きかけ

2　相談支援業務

（1）相談実績等

相談者数	222人	(85人)
延対応回数	2,112回	(1,421回)
自立相談支援事業プラン策定数	7件	(8件)
家計相談支援事業プラン策定数	7件	(6件)

（2）相談内容（主訴）

病気・健康・障害	0人（2人）	家賃・ローン	18人（3人）
仕事・就職	8人（3人）	家族関係	2人（8人）
ひきこもり・不登校	2人（2人）	住まい	5人（3人）
税金や公共料金	5人（1人）	仕事上の不安・トラブル	0人（1人）
DV・虐待	1人（1人）	収入・生活費	169人（26人）
債務	3人（4人）	地域との関係	0人（0人）
介護	0人（1人）	食べるものがない	0人（1人）

その他（貸付、権利擁護等）　9人（29人）

（3）男女別

男性　132人（36人）　女性　86人（44人）　不明　4人（5人）

3　会議開催・出席状況

（1）支援調整会議の開催　　8回（11回）

（2）庁内連携会議への出席　　1回（ 1回）

4　子どもの学習支援事業

（1）集合型

府中会場（第2・4土曜日）16 回（22回）延参加者数　154名（178名）

上下会場（第1土曜日）　9 回（11回）延参加者数　 56名（ 38名）

明郷会場（第3土曜日）　9 回（ 8回）延参加者数　 48名（ 21名）

栗生会場（第3土曜日）　4 回　　延参加者数　 23名

（2）訪問型

ボランティア派遣　利用者数　2名（ 2名）　延対応回数 46回（61回）

学習塾委託　　利用者数　7名（ 5名）　延対応回数 167回（99回）

（3）進学支援　　利用者数　2名（1名）　延対応回数　230回（146回）

事業活動支出額　　19,606千円

ふくし相談事業　　生活支援事業

府中市ふくし相談センターとして、関係機関と連携して社会資源を効果的に活用し地域住民の生活上の様々な悩みごとに対応できるよう、福祉相談を実施しました。

新型コロナ感染対策として、換気のできる広い部屋への変更、アクリル板、ビニールシートの設置、相談室入室前の検温.消毒の徹底など相談環境の整備を行いました。また、相談員を3名から2名体制に変更、弁護士相談は電話相談に切り替えるなど、状況に応じた体制整備を行うことで相談事業の継続に努めました。

（　）内は前年度

（1）一般相談

開催日数49日（49日）相談件数　32件（50件）相談人数　33人（ 55人）

（2）司法書士相談

開催日数13日（13日）相談件数　56件（51件）相談人数　71人（ 67人）

（3）弁護士相談

開催日数12日（12日）相談件数　69件（71件）相談人数　81人（107人）

事業活動支出額　　668千円

生活援護事業　　生活支援事業

地区民児協と協働して世帯の生活の安定、自立を図るため、生活上の問題を抱え緊急に経済的支援が必要となった世帯の支援活動を行いました。

（　）内は前年度

1　地区民児協への配分

配分額合計　3,790,000円（3,840,000円）

2　各地区民児協からの支援

支援件数合計　　32件（14件）

支援額合計　　716,000円（406,400円）

事業活動支出額　　3,790千円

生活福祉資金貸付事業　　生活支援事業

広島県社協からの受託事業として、低所得者、障がい者または高齢者の経済的自立と生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図るため、必要な相談支援と資金の貸付に努めました。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯への貸付として、特例貸付が設けられ、貸付申請期間の延長もあり多くの利用がありました。特例貸付の償還開始は令和４年４月からとなっています。

（　）内は前年度

資金貸付

（１）相談件数　226 件：内コロナ関連　158 件　（31 件）

（２）申請及び決定

申請件数(特例貸付)　116 件(0 件)

(その他)　0 件(0 件)

決定件数　116 件

コロナ特例貸付内訳（令和２年４月～令和３年３月）

緊急小口資金	総合支援資金	総合支援資金延長	総合支援資金再貸付	合　計
９８件	１１件	５件	２件	１１６件
14,800,000 円	4,053,000 円	1,680,000 円	555,000 円	21,088,000 円

（３）令和２年度末貸付残額　28,002,010 円（7,116,306 円）/　136 件（20 件）

事業活動支出額　895 千円

民生福祉資金貸付事業　　生活支援事業

低所得世帯に対し、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、生活の窮迫の援護と世帯の自立の援助を目的とし、必要な相談支援と資金貸付を行うよう努めました。

資金貸付　　（　）内は前年度

（１）貸付件数　5 件　（1 件）

（２）貸付金額　421,000 円　（40,000 円）

（３）償還額　105,000 円（156,000 円）

（４）令和２年度末貸付残額　844,000 円（528,000 円）/　17 件（12 件）

事業活動支出額　421 千円

＜在宅福祉サービス事業の推進＞

元気ふれあい通所事業　　在宅福祉サービス事業

創作活動や介護予防に配慮した体操など行うことで、閉じこもりを予防し、心身の活性化を図り利用者が健康で意欲的な生活が継続できるよう努めました。

（　）内は前年度

利用者数　10 人（11 人）　延利用者数　305 人（406 人）
コロナの影響で 4 月から 6 月まで休止しました。

事業活動支出額　989 千円

介護保険対象外ヘルパー事業　　在宅福祉サービス事業

（　）内は前年度

1　ひとり親家庭支援員派遣事業

ひとり親家庭の安定した生活を支援するためにヘルパーを派遣し、生活援助を提供しました。

利用者数　1 人（0 人）　延利用回数　11 回（0 回）

2　府中市子育て訪問サポート事業

子育てに不安や孤立感等を抱える家庭に対し、家事や育児補助の支援を行いました。

利用者数　4 人　（0 人）　延利用者数　17 回　（0 回）

3「おまかせ」介護保険対象外サービス事業

安定した在宅生活の継続と自立支援、生活の質の向上を目的に社協自主事業「おまかせ」サービスを提供しました。

利用者数	本所	18 人（20 人）	延利用回数	本所	394 回（448 回）
	支所	28 人（24 人）		支所	106 回（ 96 回）
合計		46 人（44 人）			500 回（544 回）

4　産前産後ヘルパー派遣事業

利用者数　本所　2 名（4 名）　延べ利用回数　本所　34 回（48 回）

事業活動支出額　444 千円

・介護保険事業

訪問介護事業　　在宅福祉サービス事業

要介護、要支援認定を受けられた方に対して、住み慣れた地域や自宅で生活が継続できるよう、ヘルパーの専門性をいかした生活援助や身体介護のサービスを提供するとともに、介護予防訪問介護相当の方に対し、介護予防、自立支援の視点からサービスを提供しました。

また、県及び市より新型コロナウイルス感染防止対策事業助成金を受け、衛生用品の購入、事業所の環境整備等を行い、介護サービスの継続に努めました。

（　）内は前年度

ヘルパーによる在宅サービスの提供

（1）訪問介護

利用者数	本所	128 人(136 人)	延利用者数	本所	1,142 人(1,130 人)
	支所	64 人(56 人)		支所	562 人(525 人)
合計		192 人(192 人)			1,704 人(1,655 人)

（2）介護予防訪問介護相当(介護予防・日常生活支援総合事業)

利用者数	本所	85 人 (99 人)	延利用者数	本所	791 人 (823 人)
	支所	20 人 (19 人)		支所	145 人 (145 人)
合計		105 人 (118 人)			936 人 (968 人)

（3）訪問型サービスＡ

利用者数	本所	1 人	延べ利用者数	本所	12 人 (11 人)
利用者数	支所	1 人	延べ利用者数	支所	1 人

人材の育成、資質の向上では、事業所内の定期的な研修会の開催や外部研修への積極的な参加により、職員の知識や技術の向上を図りました。また、職員が働きやすい職場環境づくりやキャリアアップのための資格取得等の支援により、人材の確保に努めました。

介護サポーター養成研修　9 月 24 日、25 日　　7 人　（上下）

事業活動支出額　　86,951 千円

居宅介護支援事業　　在宅福祉サービス事業

要介護、要支援認定を受けた方々の在宅生活の継続を支援するため、心身の状況や環境、本人、家族の希望を勘案してケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、効果的にサービスが提供されるよう努めました。

（　）内は前年度

1　ケアプラン（居宅サービス計画）の作成

（1）要介護プラン

利用者数	本所	160 人 (160 人)	延利用者数	本所	1,442 人(1,422 人)
	支所	118 人 (115 人)		支所	1,179 人(1,168 人)
合計		278 人 (275 人)			2,621 人(2,590 人)

（2）要支援プラン

利用者数	本所	25 人(23 人)	延利用者数	本所	192 人(229 人)
	支所	70 人(60 人)		支所	680 人(585 人)
合計		95 人(83 人)			872 人 (814 人)

2　要介護認定調査の実施

調査件数　本所　3　件 (42 件)　　支所　12 件 (50 件)

3　介護支援専門員としての質の向上

多職種協働の在り方等の研修会に参加するとともに、事業所内では定期的な研修や事例検討等を行いました。

事業活動支出額　　62,161 千円

訪問入浴介護事業　　在宅福祉サービス事業

自宅での入浴が困難な要介護認定を受けた方に対して、入浴車で訪問し、看護師、介護福祉士等、専門職により、利用者の状況に応じた職種との連携を図りながら入浴を実施しました。コロナ禍訪問を中止した期間もありましたが、事業所内では定期的な研修会や勉強会を開催し各自研鑽しています。

（　）内は前年度

利用者数　38　人（ 31 人）　延利用者数　203　人（ 208 人）

事業活動支出額　9,783 千円

・障害者福祉事業

障害者居宅介護事業　　在宅福祉サービス事業

障がい者の方々が地域で自立した生活ができるよう障害者総合支援法に基づき、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護及び移動支援等のサービスの提供を行いました。

（　）内は前年度

利用者数	本所	36 人（ 39 人）	延利用者数	本所	367 人（358 人）
	支所	4 人（ 4 人）		支所	48 人（ 41 人）
合計		40 人（ 43 人）			415 人（399 人）

事業活動支出額　13,639 千円

障害者入浴サービス事業　　在宅福祉サービス事業

自宅での入浴が困難な障がい者に対して、入浴車で訪問し、看護師・介護福祉士等、専門職による入浴を実施しました。　（　）内は前年度

利用者数　3　人（3 人）　延利用者数　35 人（ 36 人）

生活介護事業　　在宅福祉サービス事業

特別支援学校や相談支援事業者等との連携を図りながら、府中市及び近隣エリアの重症心身障がいのある方を中心に、サービスの提供を行いました。

また、学齢期の重症心身障がいのある児童の長期休暇中等の受け入れを行うことで重症心身障がい児者の方への支援というコンセプトが確立してきています。

小規模ながら若年の重症心身障がいのある方を中心として、障がいが重くても地域で安心して生活ができるまちづくりの一翼を担う事業所として、存在価値を実感できています。

組織の安定化のため、看護師の確保、職員のスキルアップは引き続き課題としてあります。

1　生活介護事業

主に重症心身障がいのある方を中心として、日中の活動や介護（食事、入浴、排泄、看護師による吸痰、胃瘻、浣腸等の医療的ケア）を行いました。

2　日中一時支援事業

学齢期（小学～高校）の重症心身障がいのある児童の長期休業中等に受け入れを行い、卒業後の生活のイメージを作ることや、近い将来の当該事業所利用につながること等を目的に実施しました。

3　障害者相談支援事業

特別支援学校や相談支援事業者との情報交換を行い、ニーズの把握を行いました。併せて、サービス等利用計画については利用計画作成、モニタリングに取り組みました。これは、他業務との兼務での実施となっています。

令和２年度　利用実績　　（　　）内は前年度

	生活介護事業	日中一時支援事業	相談支援事業
登録者数	１５名　（17 名）	５名　（5 名）	２名（2 名）
延利用人数	1,265 名（1,306 名）	41 名（60 名）	２名（2 名）

事業活動支出額　　24,106 千円

＜児童福祉事業の推進＞

放課後児童クラブ事業

1　開設日数及び利用人数　　（　）内は前年度

（１）開設日数

通常時 202 日(198 日)　長期休業 12 日(40 日)　臨時休業 29 日(0 日)

土曜日　7 日(7 日)　　計 250 日(245 日)

新型コロナウィルスの影響により、4～5 月に学校の臨時休業期間があり、夏休み期間が短縮されことで上記の日数となっている。

（２）利用実人数

実利用者数　4 年生　33 人(16 人)　5 年生 17 人(15 人)　6 年生 0 人(10 人)

通常時 延利用者数

4 年生 2,425 人(2,453 人) 5 年生 1,904 人(1,382 人) 6 年生 0 人(10 人)

長期休業 延利用者数

4 年生　207 人（ 245 人）5 年生　97 人　(138 人) 6 年生 0 人(97 人)

臨時休業 延利用者数

4 年生　44 人　　5 年生　47 人　　6 年生 0 人

2　防犯・防災訓練の実施について

第 1 回　令和 2 年 11 月 18 日（水）

内　容　避難訓練（火災を想定した訓練）

参加人数　22 人

事業活動支出額　　3,539 千円

＜諸事業＞

日本赤十字社広島県支部府中市地区

国内外における災害救護をはじめ、様々な支援を行うための資金源として活動資金募集や義援金の受け付けを行いました。また、府中市内で火災などの災害が発生した際は、被災者に対し救援物資を届けました。

地域住民へ日本赤十字社活動の広報を行い、会員数の増強と活動資金の増額に努めました。

（　）内は前年度

1　活動資金募集の実施

活動資金額合計　3,506,800円（3,510,190円）

2　義援金の受付

（1）平成30年7月豪雨災害義援金　1,729,445円【55件】
（2）令和元年第19号台風災害　419,106円【12件】
（3）令和2年7月豪雨災害　140,000円【6件】
（4）令和3年2月福島県沖地震災害　10,000円【1件】

3　救援活動の実施

被災者に対し救援物資等を届けました。

被災（全壊）世帯　0世帯(0世帯)
被災（浸水）世帯　0世帯(0世帯)
被災（火災）世帯　1世帯(4世帯)

4　会議

（1）役員会

令和2年4月23日（木）　出席者20名

議事　令和元年度活動資金募集結果報告について
令和元年度事業報告について
令和2年度活動資金募集(案)について
令和2年度事業計画(案)について

（2）協賛委員会

新型コロナウイルスの影響により中止となり、5月中に町内会長さんに配布

議事　令和元年度活動資金募集結果報告について
令和元年度事業報告について
令和2年度活動資金募集について
令和2年度事業計画について

府中市共同募金委員会

地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援することを目的に、町内会をはじめ関係機関・団体の協力のもと、赤い羽根共同募金運動を実施しました。

募金額の増加を目指し、地域住民に赤い羽根共同募金の趣旨をより理解してもらえるよう運動を展開しました。

1　赤い羽根共同募金運動の展開

（　）内は前年度

取組み期間　10月～12月

募金額合計　7,001,587円（7,010,632円）

2　地域テーマ募金の実施

申　請　者　たま保育園・中須保育所　保護者会
取組み期間　令和3年1月～3月
申　請　額　3,000,000円　に対し
募　金　額　1,575,150円　マッチングギフト　1,424,850円
配分金交付額案　3,000,000円

3　赤い羽根共同募金配分金事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体からの申請を受け、それを審査し、地域住民から寄せられた募金の中から事業費として配分を行いました。

配分合計額　15団体23事業　4,248,632円

4　会議

（1）運営委員会

第1回　新型コロナウイルスの影響のため、委員会を中止とし書面決議とした
議事　令和元年度募金事務費会計収支決算について
共同募金委員会審査委員の補充について

第2回　令和2年9月25日(金)　出席者　20名
議事　令和元年度募金結果について
令和2年度共同募金運動実施要綱について
令和2年度共同募金目標について

第3回　令和3年3月11日（木）　出席者　17名
議事　令和2年度募金結果について
令和2年度共同募金配分（令和3年度実施事業）について

（2）審査委員会

書面審査　令和元年度共同募金（令和2年度実施事業）配分事業
新規事業「非接触体温計購入事業」について
新型コロナウィルスの影響により辞退のあった未執行の予算を原資に、非接触体温計を購入し各いきいきサロンへ配布した。

第1回　令和3年 2月17日（水）　出席者6名
議事　令和2年度募金結果について
令和2年度共同募金配分事業の審査について
平成30年度共同募金配分事業の報告について

（3）業務推進会議

第1回（町内会連合会三役会）
令和2年8月31日（月）　出席者6名
議事　令和元年度募金結果について
令和2年度共同募金運動について
令和2年度共同募金目標について

第2回（町内会連合会役員会）
令和2年9月28日（月）　出席者20名
議事　令和元年度募金結果について
令和2年度共同募金運動について
令和2年度共同募金目標について